

## 既に実施されている対策整理シート

## 情報提供・普及啓発：情報提供内容の統一・情報提供経路の統一・地域の関心

対 策 案	対 策 の 目 的	実 施 時 の 課 題	既 に 実 施 し て い る 対 策 の 内 容 等	今後の方向性
登山者に対する情報提供(現地)				
人の目に留まりやすい箇所への注意標識の設置	危険箇所の明示による安易な進入の抑止、通過直前の引き締め		駕泊コース合流点下部のみ、親知らず子知らずの注意標識は老朽化のため解説不可。両コースとも登山口に危険箇所の案内があるが、あまり読まれていないと思われる。	
崩壊の可能性に関する情報提供	危険箇所の明示による安易な進入の抑止		主に合流点沓形側崩壊箇所について、各所情報掲示板、宿泊施設等にA3サイズポスターを配布・掲示。各観光・宿泊施設等へのメール・登山情報ペーパーによる情報提供	
登山者に対する情報提供等(移動中・登山前の宿泊施設等)				
必要な情報が網羅された資料を宿泊施設で配布	環境配慮行動・安全・自然環境に対する事前認識、事前認識による適切な行動、事前情報提供網のひとつ		登山情報を発行し、全旅館・観光施設に配布しているが、内容の充実度については評価未実施。	
フェリーターミナルでの情報提供(掲示板)	環境配慮行動・安全・自然環境に対する事前認識、事前認識による適切な行動、事前情報提供網のひとつ	フェリーターミナルで情報を見てもらう工夫・しくみが必要	フェリーターミナル施設内に掲示板があるが、立ち寄る人は少ない	
温泉・コテージ等での情報提供	環境配慮行動・安全・自然環境に対する事前認識、事前認識による適切な行動、事前情報提供網のひとつ、事後情報提供網のひとつ		温泉施設掲示板に、一部の情報を掲示している	
宿泊施設における適切なアドバイス	対面による情報の信頼性向上・啓発効果の向上、地域の環境意識・管理意識の高揚		各施設による	
登山計画書のチェック	安全管理、利用実態の詳細把握		各施設による	
登山計画書提出の徹底	安全管理、利用実態の詳細把握	提出先を明確にすることが必要	宿泊施設では徹底されているが、宿泊しない登山者の計画書提出は個人にゆだねられている。	
宿泊施設における登山装備の貸し出し	安全管理、カスタマーサービスの充実		一部施設のみ	
登山装備の販売	安全管理、カスタマーサービスの充実		備品のみ、一部施設で販売(携帯トイレ・キャップは全施設で販売)	
登山者に対する情報提供(出発前)				
バトロール員を中心としたブログ等による最新情報の発信	安全管理、カスタマーサービスの充実、適切な利用の誘導、利尻山の現状PR		環境省HP、利尻町役場HP、利尻富士町観光協会ブログ、マルゼンHP、及び不定期に島内関係者のブログに登山情報を掲載している	
各種メディアと連携した情報提供・普及啓発の実施	安全管理、カスタマーサービスの充実、適切な利用の誘導、利尻山の現状PR		昭文社山と高原地図には、09年度版から利尻ルールを掲載、その他危険情報も最新の情報を掲載してもらっている	
遭遇する可能性のある危険や引き返す目安を掲載したガイドマップの作成	安全管理、カスタマーサービスの充実、適切な利用の誘導、利尻山の現状PR		登山情報に記載	
旅行会社・登山ガイドへの情報提供				
旅行会社からの正確な情報の伝達要請	安全管理、適切な利用の誘導、利尻山における対策のPR、関係機関との連携強化、適格なガイド・旅行会社の育成		「ツアー登山の配慮事項」にて利尻ルールの普及依頼等実施、その他、山中で出会う旅行会社が「ツアー登山の配慮事項」を知らない場合は、下山後に手渡ししている	
旅行会社、ガイドに対する協力要請	安全管理、適切な利用の誘導、利尻山における対策のPR、関係機関との連携強化、適格なガイド・旅行会社の育成	旅行会社の企画作成時期に合わせた情報提供が必要	「ツアー登山の配慮事項」(H19～H20)	
地域住民の現状認識・関心の向上				
観光ハイシーズン後の登山道維持補修作業の実施	登山道侵食の抑制、歩行性向上による安全性向上、作業員自身の意識高揚、技術の習得		近自然工法による補修(GW事業)を実施しているが、参加者、知っている人は一部に限られる	
情報共有				
宿泊業者に対する勉強会の定期的な実施	各種対策実施における地域関係者との連携、地域在住者の現状認識向上、長期的視点の形成、安全管理		H19年度から実施しているが、参加業者は一部のみ、実施内容についての評価は未実施	

## 連携強化

対 策 案	対 策 の 目 的	実 施 時 の 課 題	既 に 実 施 し て い る 対 策 の 内 容 等	今後の方向性
ボランティア、NGO、山岳会によるサポートネットワークの形成	携帯トイレ(山のトイレ対策について)の普及啓発、清掃、携帯トイレ利用実態等データの収集・蓄積、関係機関の連携強化		山のトイレを考える会が、主に携帯トイレの普及に関する活動を実施(H13～)	
ガイド紹介システムの確立	安全管理、カスタマーサービスの充実、適切な利用の誘導		各町観光協会からの紹介はある	

## データの蓄積・モニタリング

対 策 案	対 策 の 目 的	実 施 時 の 課 題	既 に 実 施 し て い る 対 策 の 内 容 等	今後の方向性
山頂付近の植物等(固有種等)の調査の実施			利尻町立博物館・佐藤学芸員が一部実施	
定期的なアンケート調査の実施	利用者意識・利用実態の把握、利用者意識・利用実態データの蓄積		毎年何らかのアンケートを行っている	
バトロール員による簡易な定点観測の実施	植生復元策検討のためのデータ収集・蓄積	確認項目の設定	H21年、植生調査の実施地点を設定(環境省)、設定については利尻町立博物館・佐藤学芸員、及び環境コンサルと相談の上、決定	